

9 これからの富士山静岡空港を考えよう!

富士山静岡空港の今後の動きを報じる新聞記事

静岡新聞 平成25年(2013年)4月3日掲載記事



富士山静岡空港 (空撮写真)

静岡空港に国内線ビル

現ビルは 知事が増設検討

川勝平太知事は2日、静岡空港の旅客ターミナルビルの西側に隣接する県有地に、新たに国内線専用のターミナルビル増設を検討する考えを明らかにした。現在のビルは国際線中心の利用に振り替える方針。空港の経営刷新を協議してきた県の先導的空港経営検討会議(委員長・山内弘)が、知事と山内弘らで、増設するビルが国内線であれば出入国審査の設備投資が不要になる点を念頭に「ビルを増築するとすれば国内線専用。今のビルは国際線が中心になる」と語った。新幹線の空港新駅が設置された場合を想定して計画の策定を進める考えを示した。

県空港経営課によると、国際線の需要の高まりに伴い、東アジアを結ぶ便の発着が同じ路線拡充にもつながる」とみている。既存ビル西側は現在、関係者用駐車場や航空貨物を扱う建物に使われている。客用は県が滑走路などの空港基本施設とビルを一体的に保有した上で、機能向上を図るためビルを増設し、条件が整った段階で空港の運営権を民間に譲渡するよう求めた。

静岡新聞 平成25年(2013年)10月11日掲載記事

静岡空港「首都圏第3空港に」

知事、国交相に要望

川勝平太知事は10日、国土交通省に太田を成田、羽田空港に次ぐ首都圏第3空港と位置づけよう求む。会談後に取材に「(第3空港)を、首都圏の空港と位置づけられ、その役割が決まったに等しい」と述べた。

知事は「(第3空港)を、首都圏の空港と位置づけられ、その役割が決まったに等しい」と述べた。

静岡空港「首都圏第3空港に」

知事、国交相に要望

川勝平太知事は10日、国土交通省に太田を成田、羽田空港に次ぐ首都圏第3空港と位置づけよう求む。会談後に取材に「(第3空港)を、首都圏の空港と位置づけられ、その役割が決まったに等しい」と述べた。

知事は「(第3空港)を、首都圏の空港と位置づけられ、その役割が決まったに等しい」と述べた。

その他の新聞記事
新聞記事全文は「資料集」をチェック!!

静岡空港「本格検討」

新幹線 国交相、知事に返答

静岡空港の整備計画は、国交相の返答を待っている。知事は「(第3空港)を、首都圏の空港と位置づけられ、その役割が決まったに等しい」と述べた。

「搭乗70万人」目標遠く

静岡空港 ソウル線低迷直撃

静岡空港のソウル線は、低迷が続いている。搭乗客数は目標から大きく離れた状態にある。

富士山静岡空港の目指す姿

1. 静岡「県民のための」空港
2. 「しずおかの空の玄関口」から「日本と東アジアの架け橋」としての空港
3. 「地域振興・賑わいづくりの拠点」としての空港
4. 官民連携により先導的な経営を行う空港

※平成25年4月に先導的空港経営検討会議がまとめた「富士山静岡空港の新たな経営体制等に関する答申」より抜粋



富士山静岡空港は「どんな空港を目指すべきか?」話し合ってみよう!



富士山静岡空港の目標数字

項目	目標値	平成24年度実績
利用者数(人)	850,000	446,755
貨物取扱量(トン)	1,200	584.4
空港周辺2市1町の観光交流客数(人)	4,900,000	3,750,000

※静岡県総合計画(平成26年度～29年度)より抜粋



- ① 目標値を達成するためにどのような取り組みをしたらいいか話し合ってみよう!
- ② これまでの学習を生かして、富士山静岡空港をPRするポスターを作ってみよう!



Q. 首都圏第3空港って何だろう?

A. 今後、ますます拡大する日本の首都圏の航空需要を満たすため、国では、羽田空港や成田空港の機能を強化しようとする構想を持っており、現在は富士山静岡空港や茨城空港など、既存空港も含め議論されています。静岡県は、東海道新幹線空港新駅の設置を視野に、富士山静岡空港の活用を首都圏空港の一角に位置付けるよう国に働きかけています。